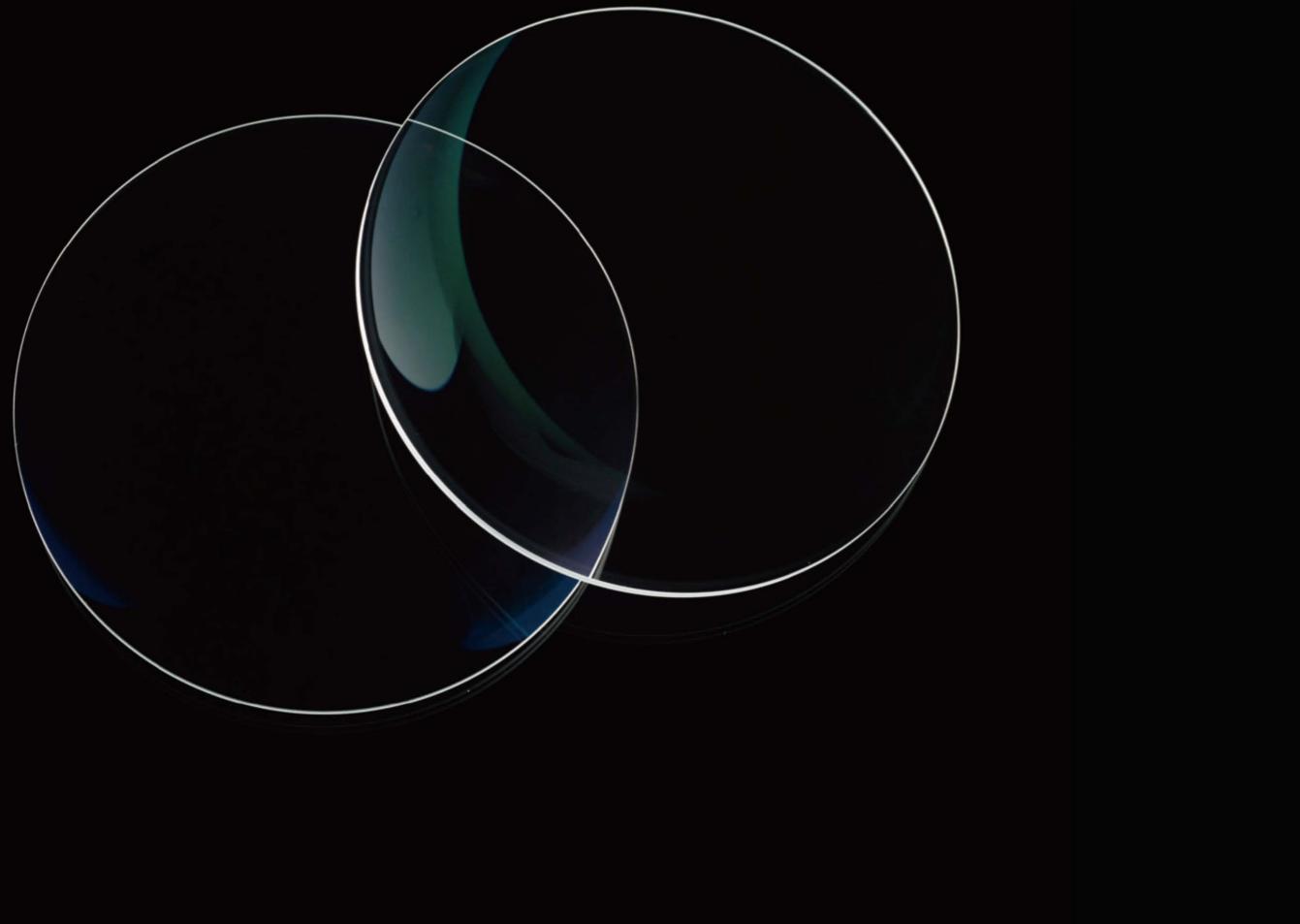


SIGMA

www.sigma-global.com

SIGMA



革新性と可能性に満ちた ものづくりをめざして。

誰も思いつかなかったユニークなアイデアを。
誰もが夢見ながら着手できずにいた製品やサービスを。
革新性と可能性に満ちたものづくりを追求し続けることが、
シグマのアイデンティティです。

株式会社シグマは、デジタルカメラ、交換レンズ（スチル／シネマ）、各種専用アクセサリーなどの光学機器の製造・販売を行う総合光学機器製造企業です。

1961年の創業より半世紀以上にわたって、多種多様な交換レンズを市場に提供するだけではなく、早期から自社ブランド「シグマ」として多くの革新的で多彩な光学機器を開発・製造し、海外をメインフィールドとして市場展開してきたグローバルカンパニーです。

現在、世界6カ国に7つの子会社を置くとともに、70以上の国・地域に販売網を展開しています（2019年12月現在）。また、米国カリフォルニア州の100%子会社、Foveon Inc.でイメージセンサーを自社開発するほかは、唯一の製造拠点である福島・会津工場で全製品の一貫生産体制をとっています。自社ブランドとして交換レンズ、デジタルカメラ、周辺機器までを完全内製化で開発・製造し、ワールドワイドに市場提供している独立系レンズメーカーとしては最大規模となります。



Uniqueness

いつの時代も革新的な独立系メーカーであるために。

シグマは創業以来50年以上、常に革新的で、独創的な製品開発を続けてきました。時代とともに、写真のメカニズム、テクノロジー、撮影のスタイルが大きく変遷するなか、戦後設立された会社のなかでも最後発のシグマが今日まで生き残ってこられたのは、他社の後追いをせず、自社ブランドとして独自の製品や技術を追求してきたからです。いつの時代にも、写真にとって最良の機材を提供できるメーカーであり続けるために、変化を恐れない、革新的なものづくりを続ける企業でありたいと考えています。

Permanence

短期的な利益の最大化より持続的な事業展開を。

シグマが最も大切にしているのは「事業と雇用の継続」です。これはシグマが非上場企業だから言えることでもあります、利益の最大化を目的とするのではなく、常に、永続的な雇用と事業を可能にするために何をすべきかを見きわめ、決断したいと考えています。これこそ創業以来一貫した経営哲学であり、最も大切な経営指針なのです。

Craftsmanship

生粋の「Made in Japan」。全製品を会津工場で生産。

シグマは、一部の加工を除くレンズ研磨、プラスチック部品の成形、塗装、基板実装、組立て、微細な部品製造、金型の製造までほぼ完全内製化。多くの製造業が海外進出するなかで、すべてを会津で一貫生産しており、掛け値なしに「Made in Japan」を謳うことのできる希有な企業です。冷涼で澄んだ空気と水。実直で研鑽を怠らない会津人の気質。光学機器メーカーにとって、会津はあらゆる面で最適の環境・条件を備えています。

Responsibility

地域・国際社会へ、企業市民としての責任を果たす。

シグマでは、社会の一員たる企業市民として、以下の重点領域において社会の公器としての倫理と責任を果たしたいと考えています。

- 雇用の維持と地域経済の持続的発展への貢献
- 生産活動による環境負荷抑制への配慮
- 地球市民としての良好な関係構築にむけた努力

これは国内に限ったことではなく、世界中どの地域にあっても、またどのような活動領域であっても忘れてはならない基本的な企業姿勢であり、信念でもあります。生産効率の面だけではなく、環境負荷軽減にむけて十分配慮し、国際社会の安寧への貢献は、企業の社会的責務と考えています。



事業の強み

シグマにおける事業の強みを語る上で、個別の技術以上に重要なことがあります。ひとつは、常に革新を求め、独自の技術・製品開発に挑戦するスピリッツ。もうひとつは経験豊かな職人が多く働く会津工場の存在です。技術革新に挑戦するエンジニアと、高度な精度を追求する熟練工、本社と会津工場というぐあいに、異なる部門、技能、機能が社内で一体となり、相互に作用して、唯一無二の製品を生み出しているのです。

SIGMA GLOBAL VISION



コア技術の総和が実現する、独創的で革新的な製品・サービス

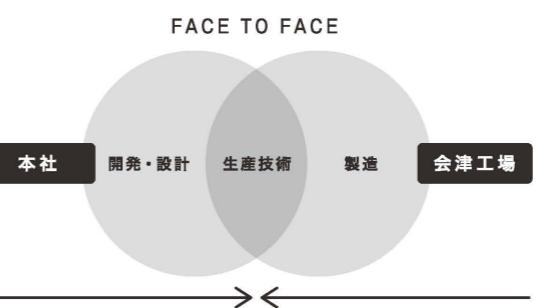
シグマの生産活動における強みは、本社と会津工場が近く、「Face to face」で綿密かつスピーディなものがづくりができること。現場が近いことで、開発と製造、カメラ事業とレンズ事業、ハードとソフト、生産と販売、国内と海外など、あらゆる拠点と部門が、有機的かつ密接に相互作用し、蓄積されます。コア技術であるレンズとセンサー技術のシナジー、一貫生産体制が可能にする独自の製品開発、柔軟なサービス提供、アクセサリやソフトウェアを含むトータルシステムの提供など、豊富な内部リソースにより、独創的で革新的な製品・サービスの提供が可能になるのです。



“Small office, big factory”

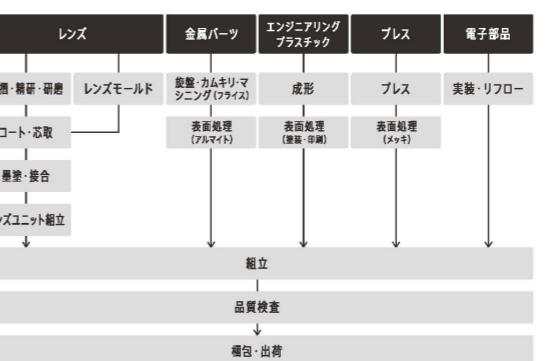
これは、創業以来一貫して提唱し続けた事業哲学のひとつであり、シグマ独自の生産体制を最も的確に表現している言葉です。シグマの場合、練られたマーケティングによる商品企画ではなく、「こんなレンズを作りたい」「こういう製品こそシグマが作るべき」という開発主導のアイディアから多くの製品が生まれます。また、それを現実に製品化できる高い生産技術も持ち合わせています。というのも、本社と会津工場の役割が不可分であり、開発～製造～サービスが一体化しているからです。いつの時代にも、シグマが抛って立つのは「製造(ものづくり)」ですから、最高の製品を実現する最良の生産体制そのものを表す「現場(ファクトリー)」こそが、最も重要なのです。

**本社と会津工場の密接な生産体制。
連携のとれた事業連鎖が強み。**



今日多くの企業が、世界中から一番安い部品を調達して工場で組み立てる「グローバル調達」方式を採用しています。私たちの国内一貫生産という方法は、現代の製造業のトレンドにおいては非常に特殊ですが、高性能な製品を作るためには、この生産方式がとても重要であると確信しています。調達元の多くが会津工場周辺にあり、コンパクトなサプライチェーンでものづくりができることも優位に働きます。厳しい環境変化でも、開発、調達、製造、品質保証、さらには販売や物流までが密接に関連することが強みなのです。

**センサーとレンズ。
写真哲学を具現化する独自技術。**



デジタルカメラが高精細・高解像化するなか、レンズ製造のプロセスは複雑・高度化する一方です。飛躍的な技術革新が起こりにくいレンズ開発では、国内一貫生産による部品と部品、技術と技術の擦り合わせ、つくり込みができる経験豊富な技術者とノウハウこそ、コアなのです。シグマのもうひとつの独自技術、センサー。世界初・唯一の垂直分離方式の(フィルムのように多層構造で情報を取り込む)「Foveon」センサーを採用しています。2008年11月にはシリコンバレーのFoveon, Inc.も100%子会社化。自らの写真哲学と事業理念を具現化する理想のイメージセンサーとしてさらなる開発・製造を続けています。

主な製品史

新領域を開拓してきた革新的な製品

早くから独自ブランドを目指してきたシグマは、創業より「他にはない、これまでにない製品」に取り組んできました。

シグマ研究所時代



TELXTENDER

業界初のテレコンバーター発売。



miniTEL 200mm F4

独自の交換式マウント「YS-マウント」発売。

1976年



Mark-I

シグマ初の35mm一眼レフカメラ発売。

1979年



ZOOM y21-35mm F3.5-4

世界初、21mmからの超広角ズームレンズ発売。

1993年



SA-300

シグマ初のオートフォーカス一眼レフカメラ発売。

2002年



SIGMA SD9

世界初のフルカラーFoveon X3ダイレクトイメージセンサー搭載デジタル一眼レフカメラ発売。

2008年



SIGMA DP1

世界初、デジタル一眼レフカメラ用大型イメージセンサーを搭載したコンパクトデジタルカメラ発売。

2011年



SIGMA SD1

4,600万画素フルカラーFoveon X3ダイレクトイメージセンサー搭載デジタル一眼レフカメラ発売。

2012年



SIGMA GLOBAL VISION

交換レンズ全機種を「Art, Contemporary, Sports」の3カテゴリに再編、フルリニューアル。

2014年
～2015年



SIGMA dp Quattro

新世代Foveonセンサー「Quattro」搭載のデジタルカメラ、「SIGMA dp Quattro」シリーズ発売。

2016年



SIGMA sd Quattro / SIGMA sd Quattro H

Foveonを核にしたシステム構築を実現する「sd Quattro」と、5,100万画素のクラス最高画質を実現する「sd Quattro H」を同時発表。



SIGMA CINE LENS

映像制作にソリューションを提供する最高性能のシネマレンズシリーズを発表。

2019年



SIGMA fp

世界最小、最軽量、Lマウント、ペイヤーセンサー採用のフルサイズミラーレスカメラを発売。

事業の沿革

独立系メーカーとしての事業の歩み

激変する市場を見据えつつ、早くから海外市場への直接進出を積極的かつ独自に進めてきました。

1961年 9月 東京都世田谷区に(有)シグマ研究所設立

1965年 11月 東京都狛江市に社屋を移転

1968年 3月 株式会社に組織変更

1970年 11月 株式会社シグマに商号変更

1973年 11月 会津工場第一期工事完成

1979年 11月 シグマドイツ設立

1983年 2月 会津工場第2期工事完成

1983年 3月 東京都狛江市に本社新社屋完成

1983年 4月 シグマ香港設立

1984年 3月 シグマアメリカ設立

1991年 1月 シグマベネルクス設立

1991年 12月 シグマシンガポール設立

1993年 2月 新工場完成

1993年 6月 シグマフランス設立

2000年 11月 シグマU.K.設立

2005年 9月 神奈川県川崎市に本社新社屋完成・移転

2013年 2月 シグマチャイナ設立



会社概要

社名 株式会社シグマ
代表者 山木 和人
所在地 本社：〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木2-4-16 TEL 044-989-7430
会津工場：〒969-3395 福島県耶麻郡磐梯町大字大谷字日知坂6594 TEL 0242-73-2771
事業内容 デジタルカメラ、交換レンズ（スチル／シネマ）、各種専用アクセサリーなどの光学機器の製造・販売
設立 1968年3月8日
創業 1961年9月9日
資本金 1億円
従業員 1,725名
年商 372億6159万円（2019年8月期）
株式 非上場
海外子会社 アメリカ（2社）、ドイツ、フランス、イギリス、オランダ、中国（2社）
関連会社 シンガポール
海外代理店 カナダ、イタリア、スイス、ロシア、韓国、台湾、オーストラリア、他約70ヶ国（2019年12月現在）

事業拠点



本社
〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木2丁目4番16号
TEL 044-989-7430（代表） FAX 044-989-7451



会津工場
〒969-3395 福島県耶麻郡磐梯町大字大谷字日知坂6594
TEL 0242-73-2771 FAX 0242-73-3382



優れた製品は、その企業を体現する。

優れた企業は、素晴らしい人材から成る。

技術、知識、経験、英知、そして情熱の総和たる「シグマ」の名の下に、

常に革新と挑戦を続ける人間集団であり続けたい。

創業者 山木道広

SIGMAについての詳細な情報は以下も参照ください。

SIGMA グローバルサイト

sigma-global.com

株式会社シグマ（日本）オフィシャルサイト

sigma-photo.co.jp

シグマ採用サイト

recruiting.sigma-photo.co.jp

公式Facebookページ「シグマ・Foveonスクウェア」

facebook.com/foveon

公式SIGMA Instagram

instagram.com/sigmaglobalvision

公式Twitterアカウント

twitter.com/Sigma_Japan

シグマウェブマガジン「SEIN Online」

sigma-sein.com/jp